

対象患者：小細胞肺癌  
 レジメン名：タルラタマブ(継続)  
 1コースの日数：14日

催吐性リスク：分類なし(メーカー回答)  
 血管外漏出リスク  
 タルラタマブ：報告なし

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day				
						1	～	8	～	14
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				
2	タルラタマブ 生理食塩液	10mg/body (250-投与量)mL	点滴静注	メインルート	1時間	○				
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				

点滴順序：Rp1→2→3

投与時間：1時間

備考：

サイトカイン放出症候群(CRS)および免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)が投与初期に多く認められる(院内マニュアルを参照)。

副作用等の理由による休薬後に再開する場合は、下記の通りを行う。

- ・最終投与日が1日目(1mg/body)

休薬期間が14日以内の場合、再開時は8日目の投与量(10mg/body)

休薬期間が14日を超える場合、再開時は1日目の投与量(1mg/body)

- ・最終投与日が8日目(10mg/body)

休薬期間が21日以内の場合、再開時は15日目の投与量(10mg/body)

休薬期間が21日を超える場合、再開時は1日目の投与量(1mg/body)

- ・最終投与日が15日目以降(10mg/body)

休薬期間が28日以内の場合、再開時は29日目以降の投与量(10mg/body)

休薬期間が28日を超える場合、再開時は1日目の投与量(1mg/body)